



10月に入り、後期が始まりました。高等部では、後期の産業現場等における実習に取り組みました。実習は日々の学習の積み重ね(成果)が、学校以外の場(実習先)でも発揮できるか挑戦してみる機会です。また、どんな働き方や職種が自分にあっているのかを確認する場ともなる貴重な機会です。

生徒たちは、前期の実習終了後に、しっかりと振り返りをし、それぞれが自分の課題改善・克服に向けて日々の学習に取り組んできました。そして、課題を踏まえて、各自が目標を設定し、実習に臨みました。

今月の進路ジャーナルでは、生徒たちの実習中の頑張りをお伝えするとともに、高等部での実習先や卒業後の進路先として、どんな事業所があるのか、ご紹介したいと思い、高等部産業現場等における実習の様子を紹介いたします。もし、見学してみたい、詳しく話を聞きたいなどのご希望がありましたら、学級担任を通して、進路指導部までお知らせください。

【集団実習】風丸農場、つがる地球村、校内作業

1年生は風丸農場でりんごの葉取り、収穫、つがる地球村で落ち葉拾い、校内で水道メーターの汚れ取りやフルーツネットの折り返し作業をしました。風丸農場さんにはいつも本校のために農場を提供していただき、葉取りや収穫など貴重な体験をさせていただいています。生徒達は「りんごを丁寧にあつかう」「りんごを落とさないように葉取りをする」など、それぞれ目標を達成できるように取り組みました。



【多機能型事業所】みなくる

フルーツネット折りと弁当のふた板のヤスリ掛けを行いました。フルーツネット折りは少し難しいところもありましたが、補助具を使いながら徐々に早くできるようになりました。また、折ったフルーツネットを5枚ずつ束ねる作業にも取り組むことができました。



【就労継続支援B型】ワークセンターつばき

ゴボウの袋詰め、委託されているメール便の配達、食材の仕分け、畑作業などを行いました。最初は緊張しましたが作業に慣れてくるにつれ落ち着いて時間いっぱい集中して活動することができました。袋詰めや、農作業は学校の作業の時間での経験を生かすことができました。



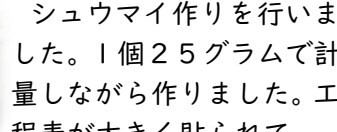
【就労継続支援B型】つがるしあわせ工房

線の分線やコードの組み立て作業を行いました。立っての作業や単純作業の繰り返しであるため、集中力や体力が求められます。また、同時に精密機械も扱うため正確性やスピードも意識してがんばりました。



【就労継続支援B型】Wake Arena

シュウマイ作りを行いました。1個25グラムで計量しながら作りました。工程表が大きく貼られていて、見やすく、確認しながら一つ一つ丁寧に美味しく作ることができました。



【生活介護事業所】これるおん

補助具を使ってA4判の紙を2つ折りにしたり、ジグソーパズルに挑戦したりしました。また、ステップ台を使った運動で汗を流しました。実習中にグループホームの体験もすることができました。



【一般事業所】ヤマト運輸株式会社

シュレッダー作業、メール便の仕分けを行いました。挨拶、返事、報告など、日頃から心掛けていることが実習でも発揮できました。読み取り器でうまく読み込むコツを担当者から教えていただき、一人でもスムーズに作業ができました。





「親なきあと」の課題



「親なきあと」のお話から、今回は「日常のサポートを誰が担うのか」についてお話したいと思います。

親がいるうち(元気で支援できるうちという意味です)は、あたりまえのこととして行っている日常生活でのサポートを、「親なきあと」には一体誰が担っていくのでしょうか？

たとえば、障害者支援施設に入所した場合は、施設の職員や医療支援をしてくれる人がいます。また、グループホームに入居すれば、世話人がいてサポートしてもらえます。しかし、地域で一人暮らしをする場合や、夜間はグループホームなどに住んでいる場合でも、日中は一人で行動することが日常的にあります。その時のために、福祉サービスをぜひ積極的に利用して、子どものことをなるべく多くの人に知ってもらうことが重要です。障害者が地域で生活するために、なるべく多くの人に関わってもらうことがとても大切なのです。

住むところの見通しを立て(9月号のジャーナル参照)、お金を管理するシステムを整え(11月号のジャーナルで紹介予定)でも、それだけでは安心できません。親がいるうちは、あたりまえのこととして行ってきた日常生活でのサポートを、「親なきあと」は誰が担うのかということが大きな課題となります。障害のタイプは千差万別で、いつもと違うパターンになかなか適応できなかつたり、人懐っこいのが災いしてだまされやすかつたり、自分の考えや気持ちを伝えるのが苦手だつたり等、さまざまな特徴があります。そのため、日ごろはトラブルなく過ごしていても、一般の人よりは日常生活の中でたくさんの落とし穴があります。障害者の生活をサポートしてもらうときに、どんな人がいて、その人がどんな役割や仕事をするのかを知っておくと、現在および将来において子どもと関わりができそうな人に、今のうちから相談しておくことができます。

まず頼る相手としては、身内が上げられます。障害者本人のきょうだいは、年齢も近く、本人の特性もよく分かっているので強力な支援者です。きょうだいが、障害者である自分のきょうだいのめんどうを見よう、寄り添ってあげたいと言ってきていれば、親としてはとても心強いことでしょう。しかし、「めんどうを見る」と言ってくれていたとしても、きょうだいにだって自分の生活や家庭があります。サポートするつもりがあっても、きょうだい自身の家庭に病気やトラブルが起きたりすると、サポートができなくなる状況になるかもしれません。もしかしたら、『そうしなければいけない』という義務感で「めんどうを見る」と口にしていてるのかもしれない。きょうだいに託したいという気持ちがある場合は、家族でしっかり話し合っしてほしいと思います。

施設やグループホームに入らない(一人暮らし)場合は、障害者が困っていること、支援してほしいことに対して、障害者総合支援法等によって、さまざまな福祉サービスが設定されているので、障害者支援区分などの要件が合えば、サービスの担い手にサポートしてもらうことができます。利用できる福祉サービスに

ついては、お住まいの市町村の役所に問い合わせるとよいでしょう。

また、それらとは別枠で支援をしてくれる人もいます。民生委員なども、障害者本人に困ったことがあるときに相談にのってくれるので、地域の民生委員が誰で、どこに連絡したらいいのかなどを調べておくといいでしょう。



覚えておくと便利な「進路に関することば」②



〔障害福祉サービスを利用しての就労〕

障害福祉サービスは様々ありますが、本校の卒業生が利用している主なサービスは、大きく就労移行支援、生活介護、就労継続支援 A 型、就労継続支援 B 型、自立訓練などがあります。今回は、そのうち3つを解説します。

就労移行支援

様々な障害のある方の一般企業への就職をサポートする通所型の福祉サービスです。原則2年間の利用期限があります。就労継続支援事業所や一般企業への就労をしていくことができます。就労に必要な職業スキルや社会性、基礎生活力を身につけるために、施設内で講座や職業訓練を受けたり、事業所での実習を行ったりします。また、就職活動のサポートとして、適性に合った職場探しや就職後の定着支援なども行います。本校では、主にジョブライン（社会福祉法人拓心会 五所川原市）、飛翔食房（社会福祉法人共生会 鶴田町）、いわきの里（社会福祉法人健誠会 弘前市）を利用している方が多いようです。

生活介護

常時介護を必要とする人が安定した生活を営むために、主として施設にて食事、排せつなどの介護のほか、創作活動や生産活動の機会を提供します。利用期限は定められていません。サービス内容は事業所によって送迎・作業・余暇活動・運動プログラム・機能訓練など様々で、本人のニーズに合った施設選びが重要となってきます。

自立訓練（生活訓練）

様々な障害のある方に対して自立した日常生活や社会生活が送れるよう、生活能力の維持や向上のためにトレーニングやアドバイスなどの支援を行うサービスです。原則2年間の利用期限があります。理想的な衣食住だけでなく、地域参加にかかわることや社会的モラルルールの学習など多岐にわたるプログラムがあり、個々人の悩みに応じた支援が行われています。自立した生活ができるようになったのちに、就労へ進みたいという流れのニーズが近年増えており、自立訓練サービスを2年間利用し、その後就労移行支援サービスを利用する方も増えています。西北地域では、飛翔食房（社会福祉法人共生会 鶴田町）がサービスを提供しています。今年度、浪岡に BaDeYa（バーディヤ）が開設になりました。興味のある方は見学できますので、進路指導部までお知らせください。



シリーズ 「今から取り組もう⑤」

今回は、アンケートでいただいた「コミュニケーション面で日頃から取り組んでいること」について、お話します。

<Q6 アンケート結果>

コミュニケーションについて質問です。卒業後の生活をイメージして、コミュニケーション面で日頃から頑張らせていることや、気をつけさせていることはありますか。

学部	いただいた回答 ※似たような回答はまとめて表示しています。	
小学部	<ul style="list-style-type: none"> ・場に応じた挨拶 ・言葉遣い ・相手を気遣う言葉 ・言い方を正す、アドバイスする ・言って良い事、悪い事の判断 ・親子でコミュニケーションをとる ・ジェスチャーの練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ありがとう」「ごめんなさい」を言う ・人見知り解消のために人に慣れさせる ・目を見て話す ・同じ事を何度も言わないようにする ・話す時は笑顔 ・人の話を聞く
中学部	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、返事ができる ・自分の話だけをしない ・異性との関わり方、距離のとり方 ・助詞の使い方 ・話をする相手の目を見る ・自ら進んで取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の話を聞く ・悪口を言われてもすぐに言い返さない ・分からない事はすぐに聞く ・落ち着いて聞く方法や言い方 ・困っている人を助ける ・丁寧な言葉遣い
高等部	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、返事、言葉遣い ・相手の目を見て話す ・分からない事は聞く ・ゆっくり、はっきり話す ・気遣い ・しっかりと聞こえるように話す ・緊張せず、リラックスして話す 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意志を伝えられるようにする ・されて嫌なことはしない ・助詞の使い方 ・優しく話す ・嫌な思いをさせない言い方 ・色々な人と関わって、経験を積む

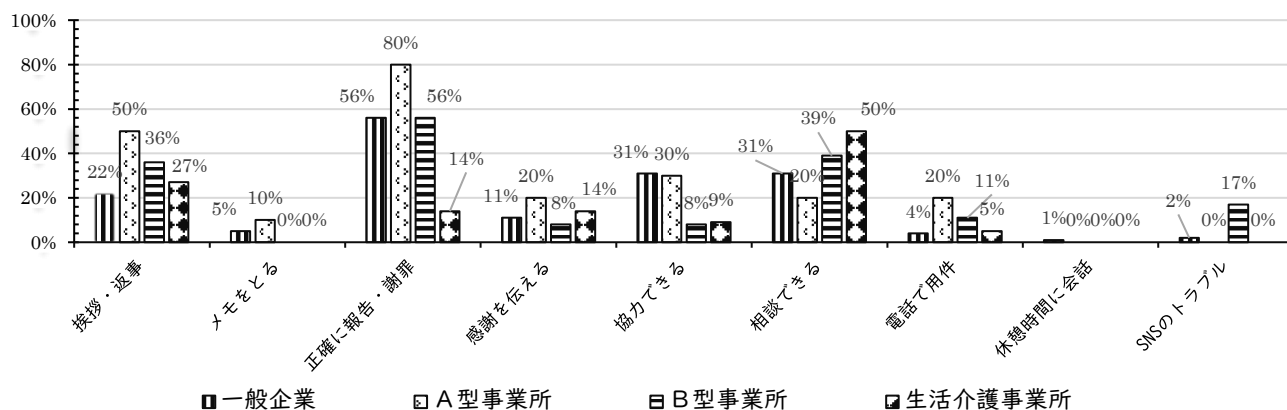
全学部で、同じような回答となりました。

やはり、どの段階でも同じ課題になり、常にどの場面でも必要とされることだと捉えているようです。私達大人（保護者、教師）も日ごろから大切にしていることなのではないでしょうか？できていることでも、場面によってはできなかったり、敢えてしなかったりということもあるようです。私達大人が子どもの手本となるようなコミュニケーションのとり方を見せていかなければいけないと感じました！



次のページに示しているのは、県内の特別支援学校で、子どもたちの進路先となる各事業所（一般企業、A型事業所、B型事業所、生活介護事業所）に「卒業するまでに付けておいてほしい力」についてのアンケートを実施したものです。その結果を見ると、事業所によって「求める力」がそれぞれ異なっているようです。

最重要項目にあげた事業所の割合（作業態度に関すること）



項目

1	挨拶、返事	相手や場面に応じて、丁寧な言葉遣いで 挨拶、返事 ができる。
2	メモを取る	必要に応じて、 メモ を取りながら相手の話を聞くことができる。
3	正直に報告・謝罪	失敗したときや迷惑をかけたときに、正直に 報告 したり、 謝罪 したりすることができる。
4	感謝を伝える	自分から、相手に 感謝 の気持ちを伝えることができる。
5	協力できる	グループの一員として、 協力 して一つの作業を行うことができる。
6	相談できる	困ったことや分からないことがあったときに、誰かに 相談 できる。
7	電話で用件	必要などきに、 電話 で自分の用件を伝えることができる。
8	休憩時間に会話	休憩時間 に、同僚と 会話 をして過ごすことができる。
9	SNSのトラブル	SNS （Twitter、Facebook、LINEなど）に関するトラブルを起こさずに活用できる。

アンケート結果でパーセンテージが高かった項目に注目してみました。

事業所が考えている作業態度で頑張してほしいこと	
一般企業	<p>「正直に報告・謝罪」 失敗やミスは誰にでもつきものです。その失敗した時に、適切に報告ができるかどうか、また素直に謝罪ができるかということで、職場の中での人間関係にも影響してくるため、この項目が高くなっていると思われます。一般企業では、「相談できる」も高いポイントとなっている事から、普段から色々な人とコミュニケーションをとることができる力が求められています。</p>
A型事業所	<p>「挨拶、返事」「正直に報告・謝罪」 A型事業所では、一般企業と同じように働くことが求められます。「挨拶、返事」「正直に報告・謝罪」項目が高くなっていると言うことは、働くための必須の力であることを示しています。</p>
B型事業所	<p>「正直に報告・謝罪」「相談できる」 B型事業所では、職員が作業員の近くに居て作業していることが多いです。近くに職員が居るため、「すぐ報告、すぐ相談」が求められるということです。ミスがあった場合、分からない事があった場合は、しっかりと職員へ報告・相談ができるようにすることが必要です。</p>
生活介護事業所	<p>「相談できる」 生活介護事業所では、自分のペースで軽作業をしたり、個別の課題に取り組んだりすることが多いです。集団の中で個別に動くことが多いため、困ったことや助けてほしいことなどを自分から相談できる力が必要です。ジェスチャーやカード等で自分から発する力を普段から身につけておきましょう。</p>



全般的に、全ての事業所で「挨拶・返事」「正直に報告・謝罪」「相談できる」の項目が高いポイントを示しています。普段の生活（家でも学校でも）で、よく「頑張って!」って言われている事ですね。前ページでも伝えましたが、私達大人が今でも気を付けている項目でもありますから、永遠と必要なスキルとされるこの項目は、学校に在学している今、しっかりと正しく身につけておくことが重要な目標になってきますので、お互いに頑張っていきましょう!